

No.	施策・事務事業の区分		事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	区分 No.	施策名及び事務事業名		
1	11	支え、育む産業基盤づくり		<p>【目標の達成状況評価、課題認識】概ね正しい。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策1-1から1-3は相互に関連しあっており、事務事業レベルの関連性を明確にするとともに、地方創生の視点も入れて次期総合計画策定に向け大幅に見直すべき。また、施策のくくりについても見直すべき。 <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業用地の確保は、目標達成に向け取組を加速されたい。 ・整備予定の産業用地については、対象となる産業分野の企業向け情報発信を早め実施されたい。 ・林業政策は、団地化を推進し路網整備や架線整備を進められたい。また森林づくりに市民参加ができるよう、「緑の保全と創出」施策と連携を図り推進されたい。 ・観光政策は、既存事業者の観光消費額が減少傾向にあり、飯田市観光振興ビジョンの推進ロードマップを関連団体と共に早急に策定し、有効な手立てを打ち出されたい。 ・有害鳥獣による農林業への被害は年々顕著になっている。農林業振興のため、駆除等について知見も活用し有効な手立てを打ち出されたい。
2	27-15	森林鳥獣被害対策事業	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による被害軽減のため、予算を拡大し駆除頭数を増やし対策されたい。 ・「みどりの景観整備事業」や農業課が担当する「農作物被害対策事業」との連携を密にし、また、市民の役割も位置づけ、知見を活用して切れ目のない総合的な対策を進められたい。
3	56-01	農地流動化促進事業	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者の担い手の育成と、新規認定農業者を増やす取組を積極的に進めること。情報の提供、共有化を図り農地の集約化を推進されたい。 ・意欲ある販売農家、認定農家の意向をしっかりと聞き取り、課題解決のために一層努力し、中間管理機構をより有効に機能されたい。

No.	施策・事務事業の区分		事の務方事業性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	区分No.	施策名及び事務事業名		
4	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化		<p>【目標の達成状況評価、課題認識】 事務事業群のテーマごとに事務事業の内容を検証すると、もう少し厳しいのではないか。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】 「支え、育む産業基盤づくり」の該当箇所に記述した評価内容を前提としつつ概ね正しい。</p> <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が進める人材育成は、企業が要求する人材を育成するとの観点も必要。また別事業として、企業が行う人材育成に対し支援金を支出するという補助事業を実施してはどうか。 ・当地域での大学院機能の維持は極めて重要。人材育成、人材確保のために産官学が連携し全力で取り組み信州大学の共同研究講座の恒久化を目指されたい。 ・地域農業の振興、遊休農地・耕作放棄地対策、担い手育成などに対する農業振興センターの果たす役割は大きいことから、抜本的見直し強化を検討されたい。併せて行政の役割の明確化を図られたい。 ・地球温暖化対策の視点から国の住宅政策が大きく変わってきている。飯伊地域の林業と地元の住宅産業の連携強化策を検討されたい。 ・若手の技術者や技能労働者の育成支援の方法を早急に検討されたい。
5	26-26	意欲ある農業者支援事業	やり方改善	<ul style="list-style-type: none"> ・制度が十分に活用されていない。認知を深める取組を行うこと。 ・意欲ある営農者と懇談を行い、その中からより使い勝手の良いメニューを検討し市単独によるメニューの開発も行うなど、市もしっかりと関わりをもつこと。
6	28-04	商店街魅力向上事業	やり方改善	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主及び各種団体から提案された魅力向上に繋がるソフト事業への補助金交付など、意欲を引き出す補助メニューの創設など補助金交付要綱を見直されたい。 ・市から「商店街の魅力を向上させるには」の研究テーマを、担当教授など専門性をもった学輪IIDA参加大学に示し、課題解決につなげてはどうか。

No.	施策・事務事業の区分		区分 No.	事の 務方 事業 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	施策名及び事務事業名				
7		海外誘客促進事業	29-16	やり 方 改 善	<ul style="list-style-type: none"> ・近年国が進めているインバウンド重視の方向やリニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据えたとき、今からの海外誘客促進の取り組みは重要だと認識する。しかし、現状としては市民の認識は低い。市民の理解を得ることに努力しながら、何を売るとかのアピールポイントの絞り込みから始めて、県だけに頼るのではなく飯田市独自の取組を行うこと。 ・海外からのサイクリングツアー、小・中学生の受入れ先の地区住民に対する理解を得る取組から始めて、受入れ体制の整備に取り組むこと。
8		新しい力による新しい産業づくり	13		<p>【目標の達成状況評価、課題認識】概ね正しい。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】「支え、育む産業基盤づくり」の該当箇所に記述した評価内容を前提としつつ概ね正しいが、知の拠点整備については未だ展望が見えてこない。</p> <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十数年先を見越した産業振興策は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据え、物流や人の流れを予測するとともに該当する地域の各種団体と連携を密に取り、目標達成に向け綿密に事業計画を立てられたい。また、かぎとなるイノベーションは人が要。担当職員は現場意識を喚起し、現場に入り、共に悩み考え抜き、現状打開のための新たな事業メニューを創出されたい。 ・知の拠点整備の一環として、国や県の研究施設の誘致を国・県に強く働きかけられたい。 ・地元食材を活用した食品産業のクラスター形成に注力されたい。 ・UIターン者が地域に定着するまで総合的な支援が行われるように施策の展開を図られたい。
9		人材誘導事業	25-07	拡 大	<ul style="list-style-type: none"> ・産業建設委員会として「若者定住の促進」をテーマに調査研究中 ・企業とも連携し、HPをより充実させるなどSNSを活用した情報発信を強化されたい。 ・若者定住促進という視点で、「結ターン・キャリアデザイン室」の全庁・連携する組織における位置づけ、役割を洗い直すとともに、機能強化に向け抜本的な見直しを行うこと。

No.	施策・事務事業の区分		No.	事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	施策名及び事務事業名				
10	企業立地促進事業（補助金）		30-11	やり 方 改 善	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな雇用創出に繋げるとの視点から、新規立地企業に対する法人市民税と固定資産税の優遇措置など有効なメニューを検討されたい。 ・補助金を交付した企業のその後の動向を情報収集するとともに、新たな雇用の創出など支援による成果を数値化されたい。
11	交通機関と道路の充実		44	拡大	<p>【目標の達成状況、評価、課題認識、事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。ただし、成果指標からすると、公共交通機関の運行支援は、取組のスピードが実態に追いついていないのではないかと。</p> <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備は、リニア推進ロードマップ柱2の具体的施策の一つと位置づけ、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道開通を見据え総合的視野に立ち取り組まれたい。 ・今後、道路維持が大きな課題になると予想でき、今から長期的な維持管理計画を立てられたい。 ・乗り合いタクシーの利用が停滞しているが、利用者からのアンケート収集、新たな路線開拓、お試し券の発行など先ず体験してもらおう試みなどを検討されたい。
12	幹線道路改良事業		34-103		<ul style="list-style-type: none"> ・「建設・改良から維持管理へ」の基本方針を前提としつつも、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の関連道路整備等に伴い幹線道路整備のニーズは更に高まっている。要望に対する市民への説明とともに、必要な予算は計画的に確保されたい。
13	居住基盤の向上		45	<p>【目標の達成状況、評価、課題認識、事務事業の組み立ての方向性】概ね正しい。市民満足度も向上している。</p> <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上・下水道事業は今後維持管理の時代に入る。上・下水道事業ともに、安定経営に向けた長期財政見通しを至急示されたい。 ・今後市民の高齢化が更に進行することから、現在市民が担っている公園の管理の部分ができなくなったときどうするかを検討を始めること。 	

No.	施策・事務事業の区分		事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	区分 No.	施策名及び事務事業名		
14	緑の保全と創出	51		<p>【目標の達成状況評価、方向性】 概ね正しい。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】 に関し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば河川美化活動への参加世帯は、目標値より10ポイント少ない値で推移している。森林、河川、公園等の維持、管理、保全は大切なことであり、今後もそれぞれの活動への参加人数を増やす取り組みを推進されたい。
15	みどりの景観整備事業	27-27	現 状 維 持	<ul style="list-style-type: none"> ・荒廃した集落の森林(里山)保全管理を図ることにより、鳥獣被害、特にサルによる被害を防止する事業として一定の効果をあげていると考える。引き続き取り組まされたい。
16	計画的な空間利用の推進	83		<p>【目標の達成状況、評価、課題認識、事務事業の組み立ての方向性】 概ね正しい。</p> <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅周辺整備区域（6.5ha）を取り巻くエリアについては、計画的な空間利用計画を早急に示されたい。
17	活気ある街づくりの推進	84		<p>【目標の達成状況評価、課題認識】 概ね正しい。</p> <p>【事務事業の組み立ての方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地は南信州定住自立圏の中心核としての顔と機能を持つため、緑化を進め散策を楽しめる環境文化都市にふさわしい街づくりを推進されたい <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちの活性化・都市デザイン競技」への提案の多くが示していたように、中心市街地の緑化は重要なテーマであり、民間活力も生かし具体的に検討されたい。 ・歴史的建造物など散策スポットの回遊を楽しむ動線を整備されたい。 ・リニア駅から中心市街地へのアクセス性の向上を図るため、案内板に限らず様々な取り組みをされたい。 ・動物園から大宮神社に至る並木通りが飯田の顔となるような、特徴ある取り組みを検討されたい。

No.	施策・事務事業の区分		区分 No.	事の 務方 事向 業性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	施策名及び事務事業名				
15	緑の保全と創出		85	—	—
	中山間地域振興プロジェクト事業(農業)		26-12		
評価 対象 数	施策		8	<ul style="list-style-type: none"> ・10事務事業の方向性 「拡大」……………4 「やり方改善」…4 「現状維持」……2 「縮小」……………0 「廃止」……………0 	
	事務事業		10		
	計		18		